



雀宮の魅力を発信!



雀だより

2022年(令和4年)4月25日発行

第60号

チュンチュン

竹はり画 末広2丁目 渡邊 信昭さん



もくじ

- 地域とつながる子供たちの活動を紹介! 「われら雀っ子」 2
- 地域のホットな話題を紹介「雀アラカルト」 3
- 表紙のことば「竹はり画に魅せられて」 4
- 雀宮の歴史・史跡コーナー「雀宮宿の伝馬・助郷」 4



雀だより「チュンチュン」は
年3回発行します



地域とつながる子供たちの活動を紹介します！

「どんと焼き給食メニュー」と「藁のオブジェ」

雀宮東小学校では、地域の人たちの支援により児童たちが種まきから稲刈りまで体験する「のみどり活動」を毎年行っています。

毎年恒例の「どんと焼き」は中止になりましたが、その代わりに1月14日(金)の給食では前年収穫したもち米を使った「どんと焼きメニュー」が振る舞われ、持ち帰りの「三色もち」も配られました。児童たちは「どんと焼きは中止になってしまったけれど、どんと焼きメニューを給食で出してもらえてうれしかった」「自分たちが作ったお米は美味しかった」と喜んでいました。

また、3月に卒業した6年生のアイディアで、どんと焼き用に保管していた火付け用の藁を束ねてオブジェを作製し、昇降口前の植え込みに展示しました。オブジェには目玉を付け、未来への希望や感謝の気持ちを書いたメッセージカードを添え、1月末まで登下校の下級生たちや来校者たちの目を楽しませました。

副校長先生は、「児童たちのおかげで、『のみどり活動』という伝統の一部はつながったと思います。今年はどんと焼きを復活させたいですね」と話していました。

雀宮東小学校



ご不要になった学生服を福祉に役立ててみませんか？

雀の宮4丁目の正光寺では、令和4年1月末から、学生服の再利用により困窮する子育て家庭を支援する「さくらや宇都宮店」の「ツナグ回収ボックス」を設置しています。

使わなくなった学生服を寄付してもらい、リサイクルの業者によってクリーニングや修復を行い必要な方に安価で販売、収益の一部を国の進める「子供の未来応援国民運動」事業に寄付し、こどもの貧困対策に役立てるものです。デザイン変更のない、概ね卒業後5年以内の学生服の寄付をお願いしているとのこと。学生服以外にも、体操着・かばん・帽子・学校指定用品なども対象となるそうです。なお、袋などに学校名を書いていただくとありがたいとのこと。ぜひ、ご活用ください。

【お問い合わせは 正光寺 TEL.653-1165 まで】



雀アラカルト

地域のホットな話題をご紹介します！

詳細は
ホームページで
ご覧いただけます

雀宮地域の情報満載!!
ホームページに今すぐアクセス!
雀宮地域 検索
<https://www.suzumenomiya.com/>
さらに詳しい情報はこちらへ!

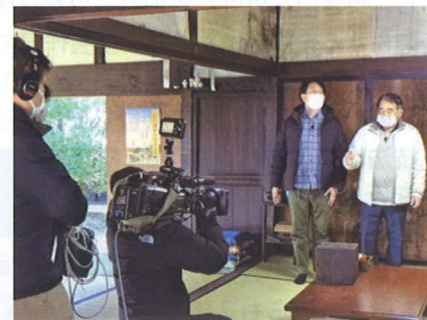
『旧仮本陣芦谷家』がとちぎテレビの取材を受けました。

1/7
金

令和4年1月7日(金)に、とちぎテレビの地元紹介番組『教えてイトコ うつのみや』の撮影が、旧仮本陣芦谷家(雀の宮3丁目)にて行われ、1月28日(金)の午後7時15分から15分間放映されました。

内容は本市出身で吉本興業所属のお笑いタレント井上マーさんが芦谷家を訪ね、『NPO法人雀宮まちづくりプロジェクト』の稲葉豊会長の案内で、宿場町であった雀宮宿および芦谷家のレポートを行いました。

マーさんは明治天皇もご休憩されたという上段の間にどっかり腰を下ろしすっかりご満悦のようでした。稲葉会長は「ここは仮本陣なので、殿様でないと残念ながら泊まることはできないんですよ。」と話していました。



令和4年 雀宮中学校区成人式が開催されました。

1/9
日



新型コロナウイルス感染拡大で開催が心配されておりましたが、令和4年1月9日(日)、令和4年宇都宮市成人式が無事開催されました。

今回も感染防止を徹底するため、11月の令和3年成人式同様、規模を縮小し、ソーシャルディスタンスが保てるよう、シアター形式での開催となりました。

雀宮中学校区会場は、ホテルニューイタヤ天平の間に、総勢164名の新成人が参加し、中学時代の友人や恩師と再会し、会場内は笑顔に溢れ、賑やかな門出となりました。

成人式では、式典のほか、地元雀宮などの企業等からの御協賛により、地域交流事業が開催され、恩師を囲んでの記念撮影や恩師への花束贈呈などが行われました。

恩師からお祝いのことばをいただくと、中学時代の思い出が蘇り、会場内は感動に包まれました。

新成人の皆様、人への感謝の気持ちを忘れず、思いやりと優しさを持つ、素敵な大人になってください!御成人おめでとうございました!!

雀宮神社で新年のお焚き上げ

1/14
金



雀宮神社では新年恒例のお焚き上げ(どんと焼き)を、令和4年1月14日(金)正午から執り行いました。

神職によるお祓い・祝詞などの神事を行った後、地域の皆様から神社境内に持ち込まれた、たくさんの旧年の御神札・御守り・縁起物の達磨・正月飾りなどのお焚き上げ品に点火し、1年間の感謝を込めながら神様のもとにお返ししました。

雀宮地区の消防団の皆様と消防車を待機させるなど、火災防止に万全を尽くし、また今年は宇都宮ケーブルテレビの取材があったこともあり、多くの方々に見守

れながら、お焚き上げを無事に終えることができました。

針ヶ谷上坪地区で恒例のどんと焼き

1/15
土

恒例の針ヶ谷上坪地区の「どんと焼き」が、令和4年1月15日(土)午後3時から同地区の熊野神社隣接の水田で行われました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、まゆ玉や甘酒の配布などは行いませんでしたが、田んぼの中に組み上げた2本のやぐらに火がつくと、集まった約900人の皆さんはそれぞれ古い御札や御守り、縁起物の達磨や正月飾りなどを燃やし、新しい年の無病息災や豊作を祈っていました。自治会の松浦会長は「コロナ禍でいろんな行事やイベントが中止になる中、こうして毎年どんと焼きが実施できるのも地元の皆さんの熱意のおかげであると思っている。今後もできるだけ続けていきたい」と話していました。



表紙の
ことば

「竹はり画に魅せられて」

雀宮の「ものづくり達人」

竹はり画 渡邊 信昭 さん

竹はり画は、竹が持つ自然の美しさと柔らかさを生かし、焼き目を付けた竹のパーツを立体的に貼り合わせて製作する全国的にも珍しい工芸作品です。

末広2丁目の渡邊信昭さんは、2016年に井頭公園で開催されていた「竹工芸展」で竹はり画に出会い、その技法に魅了され、真岡市で行われていた「竹真会」の教室に入会、以来現在まで二十数点の作品を製作、自らも2年前に地元の茂原に教室を開設しました。



現在は、定期的に道の駅や図書館・市役所ロビーなどで展示会を行っているそうです。

器用・不器用はあまり関係ないそうで、誰でも根気よくやれば個性的な美しい作品ができるといい、道具は、はさみ、糸のこ、紙やすり、接着剤、ピンセット、トレーシングペーパー、卓上コンロなど。植物や建築物などの原画をパーツごとにトレーシングペーパーに写し取り、竹に貼り付けてカットする。曲線部分はやすりなどで加工し、陰影をつけたい部分は卓上コンロで焼き目を付けた後、各パーツを貼り合わせていく。重ね合わせることで作品に立体感が出るといいます。

渡邊さんに竹はり画の魅力を伺ったところ、「部品の数が多く手間がかかることもあるが、苦労した分だけ喜びがある。同じ原画でもその人なりの個性が出て、2つと同じものがない。着色はしないが、素材の持つ筋や濃淡で色を表現することができる」と話してくれました。

教室には女性もいて、中には仙台から来る生徒さんも。また、人物・風景のみならずアニメキャラを製作する生徒さんもいるとのこと。渡邊さんも「般若心経」の文字を一文字ずつ製作し貼り付けて写経の額を完成させました。

なお、見学や体験も歓迎するとのことなので、興味のある方は連絡を取ってみたいはいかがでしょうか。

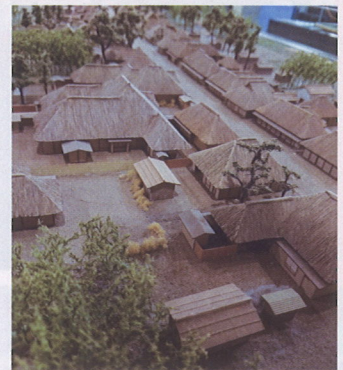
歴史ある雀宮地区の史跡などを紹介するコーナーです。

雀宮の歴史・史跡 20 雀宮宿の伝馬と助郷

江戸時代の宿場には、伝馬役、助郷などと呼ばれる宿場当番があって、人足、馬などを常駐させ公務による旅人、荷物などを次の宿駅まで届けさせた。この人足の割り当てなどは大庄屋が取り仕切り、各部落の庄屋などに伝達された。街道沿いの農民はこれを義務付けられ、理由のいかに問わず否応なしに服従させられた。

日光東照宮の例大祭、御三家の日光社参、参勤交代など、その都度、石橋宿境から宇都宮宿境までの街道の雀宮区間は、清掃割り当て標柱が建てられ、夏は除草、刈り払い、街道並木の枝おろしなども行った。行列の数日前から下検分がなされ、不備な所は役人が来て指図した。その役人に逆らったり、宿側のもてなしが気に入らないとひどく意地悪をされたという。

雀宮宿では普段から助郷や伝馬などの数が不足し、近郷近在からの増援を受けていた。庄屋、組頭などはこの助郷の割り当てに相当に頭を痛めた。助郷は18歳以上60歳以下とし、頑健な男子であること、馬は米俵2俵(120kg以上)をいつでも運べる状態でなければならぬとされていた。男手のない農家では、自費で他村から男と馬を雇って差し出さなければならなかった。現在の千葉・茨城からも助郷を頼んでいたようだ。他の地区から応援に来てくれた加助郷に対し、賃金等の対価が一部未支払いであったため、幕末には焼き討ちに遭った庄屋があったという。こうして苦労を強いられた雀宮周辺の農民も明治の御代となると、武家政治が完全に崩壊し泣きに泣かされた助郷制度も姿を消したのだった。



【雀宮宿復元模型】

雀宮地区の人口 (令和4年4月1日現在)

人口 40,732人	世帯数 17,245世帯
男性 20,255人	女性 20,477人

【編集・発行】

雀宮地区まちづくり推進協議会 (雀宮地区市民センター内)
〒321-0133 宇都宮市新富町9番4号

Mail u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp TEL 654-1013 FAX 653-5646

100%成績UP↑ にこだわる塾

小 中 高 幼 児

お う め い

学習コンシェルジュ
お子さま別専用学習プランを作成!

自立コース
実力テスト対策

個別コース
学校対策

無料体験随時受付中!!

資料請求 お問合せ

0120-061-015



雀だよりチュンチュンは環境にやさしい植物油インクを使用しています。



TEL028-633-4530 FAX028-633-4516
E fff@olive.ocn.ne.jp